

# 多彩な力作 来館者を魅了



## 11月6日~13日 文化祭作品展



第669号  
 発行人 ● 豊丘村公民館 館長 原 国人  
 編集人 ● 長野県下伊那郡 豊丘村公民館報 編集委員会  
 0265-35-9066  
 印刷所 ● 龍共印刷株式会社

私たちの村  
 (11月1日現在 ※外国人を含む)  
 男 3,368人  
 女 3,462人  
 総人口 6,830人  
 世帯数 2,135戸

## とよおかまつり 3会場 盛大に行なわれる

「ゆめあるて」でステージ発表も

とよおかまつりが十一月十二日十三日に盛大に開催された。今年は、これまでの役場駐車場(とよまつ会場)・たむらんど会場に、「ゆめあるて会場」が加わり、三会場を結んで賑やかに行なわれた。

公民館グループの発表はとよまつ会場特設ステージと、ゆめあるて大ホールとの両方で行われ、それぞれの会場の特性を活かして発表がされた。二日間を通して、とよまつ会場では十グループがゆめあるて大ホールでは十一グループが出演し、歌演奏・踊りなど、日頃の練習の成果を存分に披露した。

また、同月六日から十三日までゆめあるてを会場に開かれた文化祭作品展には、絵画・写真・木目込み人形・俳句・押し花・盆栽などが三十二団体から出展され、すばらしい作品の数々が来館者を魅了した。

妙なる音に  
魅せられて  
 楽趣会  
 清水秀也

秋空快晴のもと、例年にも増して盛大に催されたとよおかまつりは、活動発表のグループも例年にみられない程の参加者でした。私達も、公民館グループの一員として楽趣会の名のもとに集まった仲間と初参加し、中国のバイオリンと云われる「二胡」を演奏しました。

平素はボランティアにて村内外の病院や介護施設等を巡り演奏を続けていますが、本格的な舞台の披露は初体験でした。最後までドキドキハラハラしながらも、未熟な技能は持ち前の厚顔で臨み、なんとか持ち時間無難に消化し終了することが出来ました。楽趣会は十二日のゆめあるてステージ



本格的な舞台上で堂々と熱演

最後の出演というところもあり、演奏の後は時間を少し頂き、楽器をチョット触ってみたいと思ふ人々の為に、何種類かの二胡を紹介すると共に、体験会を催し好評を得ました。

私が二胡と出会ったのは数年前です。テレビで目にした中国の女子グループ「十二楽坊」が奏でる癒しの音色にすっかり魂を奪われ、出来ることなら自分もやってみたいという欲望を抑えることが出来ませんでした。間もなく、教材セットの通販

販広告を目にするや否や、深く考えもせず衝動買いをしてしまいました。

当時は下伊那地区で教えている人はいませんでした。「ナアニ、半年もすれば一応それなりの音は出るだろう」とたかをくくって、独学で教材を頼りにギコギコ始めました。ところが半年どころか一年経ってもそれらしき音が出ず、これは安物だからなんだと自己判断のもと即他府県にまで飛び、中級品を購入しました。しかし、見事に期待を裏切られ、今に至ります。その後、創造館で中国の先生に習いましたが、現在も悪戦苦闘の試行錯誤が続いています。

今回、ステージ発表の経験を経て、今後益々研鑽に努め技能の向上に励みます。二胡という楽器に興味ある方々であれば年齢経験を問わず仲間になってもうごと大歓迎です。楽趣会「趣味を楽しむ会」で楽しい時を共有しませんか?

### 段丘

十月二十七日から十一月九日の二週間は秋の全国読書週間でした。終戦二年後から始まり毎年その日に行われ日本の国民的行事となりました。豊丘村図書館では十一月を読書月間としています。

最近発表された米国立イール大学の調査では、本を読むと長生きすることがわかりました。一週間に三時間以上読書をする人は、本を読まない人に比べて、その後十二年間の死亡率が二十三%も低くなるそうです。雑誌や新聞も長寿に効果はあるけれど本ほどではない。三十分読書をするストレスが六十八%軽減されるとか、他にも世界各地方から興味深い研究結果が報告されています。

最近あまり本を読んでいなかった方も読書月間中はぜひ読書してみてください。

本の読み聞かせは子どもの感情や感性を豊かにすることも言われています。図書館と公民館と子育て支援センターでは、今年度「絵本の読み聞かせ講座」を四回シリーズで行い、読み聞かせを楽しみながら、大切さを学びました。

読書は大人の健康にも効果絶大。「読書の秋」を満喫して寿命を延ばしましょう。『いつだって、読書日和』

見念えのある作品は、ゆめあるてを飾る

押し花作品を  
 久保田さと子  
 久保田さと子  
 押し花クラブ

毎年、とよおかまつりの文化祭作品展に出品させて頂いています。押し花クラブです。今年も南小学校の生徒さんのかわいい作品で、花をそえて頂きました。

初夏から秋にかけて一年間に五回程、南小学校のクラ

プへ顔を出させて頂いていますが、二度、参加させて頂いている子供さんもいらつしゃいます。最後の日は「もっと作りたい」という声も聞かれます。後で感想を書いてくれるのですが、それを読んで嬉しく思い、来年、参加することがあれば、励みにもなりますし、参考にもなります。

今回、押し花クラブとしての出品は、風景からアートと皆さん、それぞれ力作

です。私の以前の作品は、自分のイメージで少し自己満足の物が多かったのですが、最近、子供さん達も見てくれるし、というところも考え、フィギュアスケートの写真を使用してみました。スケースを空けて頂き、とても作品が見映えよくなったと思います。話は戻りますが、小学校のあるクラブの方が何年後か



様々なデザインの押し花作品

に生徒さんに会ってとても感謝してくれたとの事。私もそうあって欲しいと願っています。

今年、ステージ発表の経験を糧に、今後益々研鑽に努め技能の向上に励みます。二胡という楽器に興味ある方々であれば年齢経験を問わず仲間になってもうごと大歓迎です。楽趣会「趣味を楽しむ会」で楽しい時を共有しませんか?

（読書週間 標語）より  
 『いざ、読書』  
 （正木淳子）

# リニアの声

## 第6回

### 課題を抱え

#### 工事着工

地蔵道

越野 清司

今日一日、大鹿村にて起工式が行われ、リニア中央新幹線県内工事がいよいよ確実に私たちの目に見える形で始まろうとしています。

この瞬間を心待ちにしていたと言う声と、何一つ問題が解決していないままのスタートだと言う声、本体工事の着手と共に、それも県内路線該当地域として、ますます大きく取り上げられていきます。十月末頃は毎日テレビニュースで大鹿村が放映され、村長をはじめ協議議員、村民の方々の声、南アルプストンネルの掘削

リスク課題など緊迫した雰囲気も確認出来たと思います。私も仕事の関係で月に何度か大鹿村に行きますが、一番のネックは大鹿村までのアクセスロード小浜線は、普段でも一般車両よりはるかに多いダンプの数です。ダンプが走るには狭い道幅、上下線で譲り合うダンプの間を縫って走る一般車両。抜け道の「岩道」は走る条件ではもつと悪いし、生活道路なのか工事作業車道路なのか、優先は無いにしろ、危険度は現在でも確かに高い。問題となる点は幾つもありますが、どれをとっても当然それは大きな課題になります。次に待つ「伊那山地トンネル掘削工事」に向けても、これからの動向を、関心を持つ

て、しっかりと見ておかなければならないと思います。リニア工事が身近に感じるところまで現実化してきました。これから十年、大規模な工事と直面しながら生活して行く大人たち、そ

の先リニアが生活の中に普通に存在している社会で生きていく大人たち、それぞれの世代でリニアと関わるシーンが異なりますが、結果的に「大規模で大変な事業だったが、開業出来て良かった。そして、それを活かして良かった。」と誰もが思える時代が来る為のレールを、今を生きている私達が引きたいものです。



長野工区起工式での鉄入れの様子  
「南信州」新聞 平成28年11月2日掲載

### 村の駅について

林里一

竹村久男

私は二十五年程前にUターンし、この林里に移住致しました。穏やかで、そ

して素晴らしい田園風景を目の前にし、季節を感じ取りながら日々生活をしているこのごろです。

今ここ林里に「村の駅とよおか」という、大きな施設が誕生するという事で、大変な驚きと、期待が交錯しています。

### 村の駅とよおか(仮称)下田

館報九月号の「段丘」に掲載した編集子の意見に対して、お二人の方から意見を寄せてもらいましたので紹介します。

駅のすぐ近くに住む私共としては、施設並びに周辺の安全、防犯等に不安を抱えております。竜東一貫道路、中央保育所、はつらつ等々有り、開業にあたり万全の態勢をとって頂きたく、また立ち寄られるお客様、近隣の皆様の安全を優先にお願いするところでありませ

うです。開設する駅の魅力、豊丘村の魅力を外に強みに発信して頂き、村の駅並びに地域産業がより良く発展し、豊かに、元気に、生き甲斐のある村になります様、願うものであります。

### 村の駅建設に期待する

山田

田戸儀信

平成三十年に開設される村の駅に期待する生産農家です。現在、直売所に果物、野菜等を出荷していますが、近い場所に販売所があれば良いと感じていました。

村の駅ができることで農地が減るといふ課題もありますが、一方で、農業生産振興につながる側面もあり、遊休農地復活にもつながると考えています。高齢化等

の先リニアが生活の中に普通に存在している社会で生きていく大人たち、それぞれの世代でリニアと関わるシーンが異なりますが、結果的に「大規模で大変な事業だったが、開業出来て良かった。そして、それを活かして良かった。」と誰もが思える時代が来る為のレールを、今を生きている私達が引きたいものです。

## 工夫をこらした堀越文化祭

### 第5分館 堀本明一

第五分館では、二年に一度の「堀越文化祭」を十一月三日に実施しました。運動会を実施しない年に行なっています。

今年はステージ発表は二グループと寂しくなりましたが、踊りを熟知した婦人グループ「わかば会」の皆さん、また小学生を中心とした「桜松林」の皆さんの重層な踊りと子供達の元気な踊りが、会場を盛り上げました。

展示の部では、忙しい合間をぬって精魂込めた作品が会場一杯に展示されました。どの作品も細かな細工がほどこされ目を見張る作品ばかりで感心しました。

二部のカラオケの部では喉に自信のある方の、歌声が響き皆さん聞き惚れていました。最後は、ビンゴゲームで一層盛り上がりリーチになつてから、中々ビンゴにならず、皆ため息ばかりでしたが、途中から多くの

人がビンゴとなり、皆景品を頂きひと安心でした。

今年は景品の数も増やし、多くの人に行き渡るように工夫もしました。

午後九時を迎え事業を終了しましたが、永く続いていると内容もマンネリ化します。色々と工夫をこらし、文化祭が永く続くといいと思います。関係の皆さんありがとうございました。



桜松林の皆さんの踊り

## 真面目な高齢者健康長寿

### シリーズ「元氣な高齢者」②7

#### 壬生わかへさん

八十九歳

壬生沢西在住



大正十五年に現在地に近い大柏で、四人きょうだいの次女として農家に生まれました。母には男きょうだいがいなかったため養子を迎えましたが、両親とそりが合わず家を出ることになり、山を開拓し家を建て更に生活の糧を作り出した苦労人であった。

小学校は神橋小へ通ったが、片道約一時間かかり最遠地からの通学であった。高等科の一年まで進み、淡路島の「カネボウ」へ級友の十人と一緒に就職した。同世代の人が多く楽しい会社生活であったが、三年半勤めた後、両親の指示で家に戻った。そして青年学校で四年間学んだが、内容は当時激しさを増していた戦争の影響を受けて、軍事訓練が主であった。その後は、

自然に体が鍛えられ、八十歳頃に膝を痛めるまでは、病気が無という健康体であったし、現在もそうである。一方で御主人は退職後は農業を手伝ってくれ、特に蒲萄作りに熱心であった。しかし次第に病気がちとなり、入院を繰り返す数年間に亘る介護の末に、一年半前に九十四歳で亡くなった。

若い頃は食料も満足に無く働き詰めの人生であったが、現在は長男一家との七人で穏やかに暮らしている。特に凝っている趣味はないが、昔の流行歌が好きで、相撲ファンでもある。また六十歳を過ぎてから気の合った仲間と全国各地を旅行したことが、楽しい思い出である。去年まで公民館の学習会に十年以上も参加し、皆勤賞を十枚ももっている。何でも美味しく食べ、くよくよしないという性格が健康長寿の源と感じた。

文責 桐崎 長一

宮下 正弘

村の駅とよおか(仮称)イメージ図



### 中学生がボランティア活動に参加

## 活動証明書交付

在であることを実感し、自己有用感を培っていく機会になるとともに、社会力(人となり)が、社会をつくる力)を育む機会になると捉えています。

十月の時点で、延べ六十六名の生徒が、福祉施設をはじめ、保育園、児童クラブ、ゆめあるて、図書館、資料館などの活動に参加してきており、いち早く五回の活動を達成した九名の生徒の皆さんに、十月十一日、教育委員会から「活動証明書」が交付されました。

#### 【活動証明書交付者】

三年一組 矢澤亮太、西尾香澄  
村澤里南、栗澤直渡

三年二組 長沼靖熙、宮下大侑

小池 遥、菅沼昂生  
吉澤巴菜

この事業の趣旨について  
この事業の趣旨は、中学生が教育委員会では、中学生が学校活動以外で自主的にボランティアとして地域に出向き、地域の施設や地域の行事を支えることで、働く意味を学びながら、自分が社会の一員として役立つ存在



9名に活動証明書を交付

### ボランティアをやって

豊丘中学校三年 宮下大侑

夏休みに神稲児童クラブにボランティアに行きました。僕は小学校の頃、神稲児童クラブに通っていたので、夏休み前にボランティアの話聞いて、友達と児童クラブに行くことにしました。僕は五日間のボランティアを頑張ってみようと思った。初日、神稲児童クラブへ行くと、たくさんの子がい

て、みんな僕達のことを不思議そうに見ていました。その中に入っていくと、僕は緊張してあまり話せませんでした。小学生は元気ではないなと思ひ、明日はもっと話せるように頑張ろうと心に決めて、初日を終えました。二日目は、自分から子ども達に話しかけてみました。すると、小学生からも話してくれるようになり、楽しく遊ぶことができました。僕の名前を呼んでくれたり、僕も名前を呼んで話すことができました。すごくいい経験になりました。

### 子供の心を育む絵本 絵本の読み聞かせ講座

公民館・図書館・子育て支援センターが八月から行ってきた絵本の読み聞かせ講座が、十一月四日で終了しました。

この講座は、子供や保護者の皆さんに絵本の楽しさを感じてもらおうと、元学校図書館司書の岡庭穂波先生を講師に開いたもので、年齢にあった絵本の選び方や、読み方、持ち方などを全四回にわたって学びました。

読み聞かせ講座では、子供も大人も絵本の世界に引き込まれる、豊かな時間を過ごすことができました。

子ども達にお話の世界の楽しさを伝えたい  
子育て支援係 多田美津子

今回の講座では、毎回対象の親子に合わせた絵本を選んで、読み聞かせの楽し

さ、大切さを教えていただきました。①小さい子に読む本を選ぶ時に気をつけたい事 登場人物が少ない 時間の流れにそったもの 色あいの優しい本

図書館にも紙芝居等たくさんあるので利用してほしいと思います。子ども達に お話の世界の楽しさを伝えてきて下さった先生ならで はの読み聞かせ、手遊び等の工夫(手作り小道具)を一緒に楽しみながら学ぶ事ができました。



大好きな絵本に引き込まれて

観客参加型(かかわりながら進めていくもの) 物語完結型(昔話など)

人魂を見た人はちよいちよいあることと思います。大昔からの諸霊が現世の人に会いたくてこの様な光物となるのではないのでしょうか。何かの方法で諸霊を慰めてあげたいものと常々かんがえています。

柱が立つとかいう話がよく聞いていました。自分は火柱ではなく光物でありありと見たのです。諸霊や神様が集まっていたところだから火柱や光元のような形になって後世に現れているのでしょうか。重ねて申し上げます。

予定していた五日間が終わった時は、ちよつときみしかったです。ですから、友達と相談して次の日も行くことにしました。次の日に行くと、みんなとても喜んでくれました。その時「ボランティアに来てよかったです」と思いました。このボランティアでいい経験ができたし、自分自身も楽しむことができました。

穴を掘って柱を立てる竪穴式住居が一般的だった当時、このような造りの住居は大変珍しいものです。また、この住居跡からは「墨書土器」や鉄製の「鋤先」「鑿」が見つかりました。この家が特別な役目を持った特殊な建物であった可能性が高いと思われま

て、展示もあります。酒井幸則先生からはこの特別な家についての話も聞けま

この十王堂は昼間は子供の遊び場でした。ある男の子が学問ができないヒガミにこのお天神様の祠へ小便をしたのです。そうしたら空の曇った日にはその小便のあとがある

文責 壬生雅穂 (豊丘村民話集・第壹輯) (昭和五十二年)より

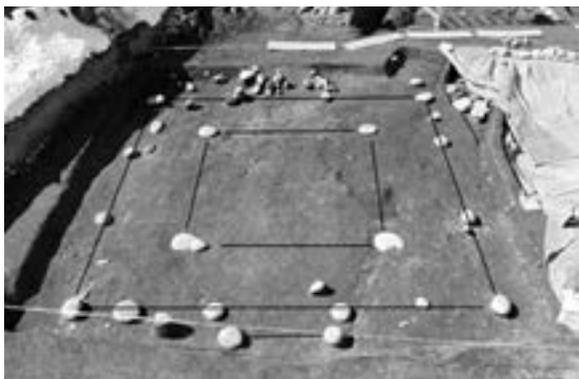
### こちら資料館 168 地蔵道に特別な家があった

写真は「地蔵道三島遺跡」で発掘された平安時代前期の住居跡です。縦横が九対弱のかなり大きなもの

のです。石が規則正しく方形に並んでいることに注目ください。それも、内側の四角とその外側に一辺四個ずつ計十二個のやや小さい石が確認できます。これらの石は建物の柱を支えた礎石(束石)と呼ばれるものです。

「三島遺跡出土品展」が間に迫りました。(十一月二日〜二七日)「有孔鍔付土器」をはじめ防錆加工を終えた「鋤先」や「鑿」

の展示もあります。酒井幸則先生からはこの特別な家についての話も聞けま



平安時代前期の住居跡

### とよおか 100年前 13 『豊丘村民話集』より

#### 人魂

伴野上村

小沢治雄

昔、伴野に十王堂といつて向西寺の坂の下の辺に萱葺きのお堂があって、十体の木像が祀られていました。昭和三十年頃のこと、旅にいた自分の伯父が急死し

た。十王堂あたりから出た

からこの十王堂では火



伴野、向西寺跡。十王堂はこの付近にあった。

# 豊丘の自然

~シリーズ~  
No.157

シメ  
(アトリ科)



「立冬」(十一月七日。暦の上でも冬に入った。そこで、今日は冬鳥のシメ。太いくちばしで木の実を割って食べる、ずんぐり・むっくり。色も地味。やっかいなのは分布。ユーラシア大陸の亜寒帯で広く繁殖するが、一部は夏鳥として北海道に渡来し、繁殖する。そして、冬期は本州以南へ移動。こ

ここで、私たちは冬鳥と認識する。そもそも、冬鳥、夏鳥、留鳥、漂鳥、旅鳥、迷鳥、なる呼び名は地域で異なる。それにしても、この地で冬を越したシメ、一端、ユーラシア大陸にもどるのだろうか。話をトンボに変える。冬だというのに、ナツアカネ、アキアカネは今も健在。名前と季節のズレを感じながら、今日もトンボ調査。(山田 拓)

# 力を合わせて笑顔で競技

## 村内4地域で運動会

スポーツの秋本番となった十月二十三日と三十日に、村内各地域で運動会が開催された。両日とも晴天に恵まれ、秋空の下、心地よい汗を流した。競技はどの地区も工夫が凝らされており、子どもからお年寄りまで笑顔でスポーツを楽しんだ。また、地区対抗競技では勝利に向けて住民が結集し、すばらしい団結力を見せた。



第7分館 (福島区・壬生沢区)



第2分館 (田村区)



第3・6分館 (林区)



第1分館 (河野区)

十月二十三日(日)

十月三十日(日)

# 俳句 短歌

曼珠沙華きらめき放つ一滴  
磯部セツ子

彼岸花したがえ浄土の石佛  
田中 静

彼岸花妖麗のごとく咲きみだれ  
片桐 洋子

土手刈りし膝に触れゆく彼岸花  
下平 玲子

古民家の灰か新蕎麦かみしめり  
三島 保子

天龍の濁流眼下に曼珠沙華  
三島 里子

蟋蟀の夕高まりて闇深くせり  
木下 眞水

母と似し膨みの手で稲を刈る  
宮下 公

天竜川の瀬音に消ゆる虫しぐれ  
丸山 時子

段丘の稲架組む夫の息荒し  
林 恵美子

なきがらの鈴虫白髪のみ撥ねつ  
北原 昭子

〔短歌会 夢あるて〕

きのこ採り炭焼き窯の跡ふみてにおいを感じ思わず走る  
松下 泰見

こぼれ落ち芽を吹き伸びたアサガオよつかまれ支柱に野分が近い  
福澤貴美恵

終戦後祖母のもとめし木の椀の汁の温もり掌つたう  
大原真由美

平和ねがう中学生の発案で満蒙の史の展示なされる  
筒井 恵子

秋野菜値が高騰し店頭で今宵の献立悩む主婦たち  
松尾ヒサコ

〔八日会〕

朝ごとにリハビリ共にする青年に「早くよくなって」声かけてやる  
松島 八重

十年前の群らがる蝗今は居ず河原の刈田に北風ぞ吹く  
寺元 和実

雨続き無花果の実は口をあけ中の粒つぶ空を窺う  
河原 梨花

病窓の竹藪の横に若き日を長く住む家ありてなつかし  
吉沢 新子

色づきてたわわに実る市田柿収穫作業に吾も追るる  
紅 梅

稚児化粧に紅を厭だと逃げ廻り「俺は男だ」  
岳 道

〔あしたば短歌会〕

行きあいの流るる雲に秋の風少し交えて夏のすぎゆく  
毛涯百合子

孫からの敬老祝いに贈られしアレンジ花を飽かず眺む  
壬生 千春

今何処チヨンギイスと鳴くキリギリス平成の今聞くことは無し  
大倉 知江

旧宅に残せし岩松葉親げなし持ち来て水を遣れば生きづく  
久保田 妙

織姫と彦星ほどではなくても今年は会える都会に住む友  
北澤 秀子

白杖を伴走者に替へ力走すパラリンピックの長距離ランナー  
福澤 亀人

# 親守詩長野県南信大会受賞作品

親守詩とは、子どもが「五七五」、親が「七七」で「感謝」と「親心」を表現する親子のキャッチボール短歌のことです。

- ▶NPO長野教師力向上NET理事長賞 豊丘南小学校六年 内山裕史郎くん
- (子) 楽しみは 夜寝る前の ウノ大会 (親) 子どもは笑い 親ムキになる
- ▶豊丘村長賞 豊丘南小学校六年 近藤 和夢さん
- (子) 笑顔はね 一つの言葉で あふれるよ (親) その一言で 涙もあふれる
- ▶豊丘村教育長賞 豊丘南小学校三年 壬生 晴道くん
- (子) 今日の出来事 たくさん話せる タごはん (親) 笑顔の会話で ご飯がおいしい

### 柳 (豊丘川柳クラブ豊柳会)

▼課題「祝」 長谷部良庵 選

式典の祝辞短く大拍手 桃沢 健介

祝勝の陰に涙の努力あり 福沢 勝美

忘れない記念日祝う二人酒 原 美風

▼課題「先」 長谷部良庵 選

誘われて先立つモノを胸算用 林 桃子

先走り心の杖をつき直し 市沢 照子

頑張った先に実の成る花が咲く 西元 峯子

先人の遺訓を守り農を継ぐ 安田 喜子

軸吟…先頭に立つと背中に矢が刺さる

▼自由吟 桃沢健介 選

労働の意地がねじれる稲穂かな 小澤 凛

保育園外ナンバー参観日 久保ひろし

難題に都知事お出まし両断か 吉川 燎

軸吟…トランプ氏生み出す土壤病む世界

授稿 俳句

ややつこの 寒さしみるや もみじの手

中部三 鎌倉 美登里